

地域包括支援センターだより

第8号

H24. 3. 1発行

(年4回発行)

編集発行

皆野町地域包括支援センター

皆野町大字皆野1420-1

電話 62-1233

# 在宅介護者のつとめ募集

介護者自身が健康でいられ、介護についての知識を学びながら  
仲間づくりをしませんか。気軽にご参加下さい。

期 日 平成 24年 4月 26日(木)

時 間 午前10時から正午

場 所 皆野町役場 2階 201会議室

対 象 在宅で介護をしている方

費 用 500円 (材料費)

内 容 「介護や生活に役立つアロマ」

講師 アロマセラピスト 新井 幸子 氏

消臭アロマミストの作り方

リラックスハンドマッサージ

申込み 4月 20日(金)まで(先着20名)

健康福祉課 地域包括支援センター 電話 62-1233 内線115



「待ってるねー。」

★地域包括支援センターからのお知らせ★

**認知症を理解し、町全体で支える事業が始動しました。**

秩父生協病院皆野支部「手づくりの会」、公民館事業「高齢者学級」において、10月と12月にそれぞれ「認知症サポーター養成講座」を開催しました。内容は病気（認知症）の症状を理解し、サポートの方法を学ぶものです。計120名の認知症サポーターが誕生しました。サポーターは自分のできる範囲で家庭や地域でサポートします。（手首にするオレンジリングが目印です。）

これからも各団体や集会にお伺いすることでサポーターを増やし、温かい見守りや声かけができる優しい町づくりを進めていきます。



【写真左】：「手づくりの会」つどいの家にて

自身の体験を話したり、質問したり楽しんで学んでいる様子。

【写真右】：「高齢者学級」公民館にて

病気の原因や予防に関心を示し、熱心に聞いている様子。

## 『今号の特集 地域でいきいき生活』



【写真】：干支の辰の絵と一緒に自宅にて

豊田彌太郎さん（腰区）は来月で95歳を迎えます。68歳の時に公民館の「淡色水墨画講座」に参加したことがきっかけで、現在もすばらしい絵を描き続けています。良き師匠や仲間恵まれ、秩父美術展では知事賞をはじめ

数々の賞を受賞される腕前。「地域包括支援センターにはいつもお世話になり助かる。これからもよろしく。」と励ましてくれます。自宅のアトリエで「自分の力で絵を描きたい。」「健康のために趣味を活かしたい。」と創作活動への意気込みを元気に語ってくれました。

<地域包括支援センターからのお知らせ>

★地域でいきいき生活している高齢の方の情報をお待ちしています！！★

自薦・他薦を問いません。

★地域活動情報を募集しています！！★

地域の寄合や行事など活動している団体を把握しています。地域社会の繋がりを通じて介護予防に一役買うような活動をぜひおしえてください。

（問合せ） 皆野町地域包括支援センター

TEL 62-1233（内線115・116） FAX 62-2791

## 地域包括支援センターはこんな仕事をしています

地域包括支援センターは、高齢者のみなさんが住み慣れたところで安心して自立した生活が続けられるようにお手伝いします。

介護保険サービスの利用方法、介護予防、保健福祉、権利擁護、そのほか生活に関する不安や悩みなどいろいろな相談に応じます。気軽にご相談ください。

## 高齢者のよろず相談所

### 皆野町地域包括支援センター（健康福祉課内）

電話 62-1233 内線 115・116

#### 【編集後記】

「サヨナラは悲しい言葉じゃない〜♪」3人組の人気グループ歌手『いきものがかり』の「YELL」（エール）という歌詞のフレーズである。とかく別れはつらく悲しいものなのに否定するのは何か訳があるのだろう。言葉は表現1つで全く違う捉え方をされ、発せられた中にいろいろな思いがかくれている場合が少なくない。「サヨナラ」にはどんな言葉がかくれているだろう。たとえば、「また明日会おうね！」や「元気でね！」などつらく悲しい感情と同時に希望感や期待感が詰まっているのではないか。この歌詞では「それぞれの夢へと僕らを繋ぐ YELL」と続いている。

ひとつひとつの言葉にどんな気持ちや思いがかくれているか、相手を思いやり想像してみよう。出会いと別れの季節でもある。

ペン やす